



故・渡邊直幹先生を偲ぶ

理事長  
吉田 登美子

平成22年2月14日、理事の渡邊直幹先生が78歳で天に召されました。残念でなりません。NPO法人いもむしの第一の功労者である渡邊先生の業績を皆様の心に留めておいてほしいという思いで追悼文を掲載させていただきます。

障害の  
息子と我を導きて  
ひかり輝く  
希望の空へ

渡邊先生との出会いは、平成2年、みどり園の園長先生の時に、次男の件で知り合い、それを機に千葉県単独事業知的障がい者生活ホーム「グローハウス（平成3年設立）」、「グローハウス船戸（平成10年設立）」、「NPO法人いもむし（平成18年6月1日設立）」を立ち上げ、大きな知恵と人脈を授けて頂きました。福祉畑のことは何も知らず、ただ次男の障がい悔やみ、苦しんでいた私に、立ち上がる勇氣と光を与えて下さったからこそ、今の私があるのだと感謝しております。また、会津に“にいつる荘”という別荘を立ち上げる時も、先生の人柄のお陰で借りることが出来、季節ごとの山歩き、山菜取りなどを楽しみましたが、それも今年で閉めることになりました。

「いもむし」の理事であり、私の心の支えとして大きな存在感のあるお方を亡くし、本当に残念でありませんが、これから先は皆で力を合わせ、「いもむし」を成長させていくことが、渡邊先生への恩返しと思わせて頂き、心からご冥福をお祈りいたします。



縁の下の  
力持ち

千葉県スキー連盟顧問

矢口昭二さん(84歳)



今回は、スキー旅行、いも掘りを行う際にご協力いただいている矢口先生にお話しをいただきました。

「もともとは支援員の坂本さんにスキーを教えた縁でお付き合いが始まりました。子供達に雪遊びをさせたいというお話を受けて、ゲレンデに困いがあれば安全かなと片品スキー場をお勧めしました。

当日は、子供達のものすごい喜び様に感激し、また、一生懸命お世話をしている支援員の方々にもとても感動しました。あんなにはしゃいで喜んでくれる子供達の顔を見たら、自分も何かしてあげたい、また雪遊びをやらせてあげたい、と思っちゃいますよ。この歳になって、周りの人に感謝してもらって、本当にあー良かったなあと、来年もまた頑張ろうと思えます。こうやってまた一年長生きできるんですよ！(笑)」

～いもむしたちの主な活動内容～

平成21年～22年5月の主な活動内容

- 21年
- 4月5日 「さくら祭り」フリーマーケット参加
- 5月10日 「マフイまつり」参加
- 8月27日 夏季イベント・そうめん流し他
- 8月29日 「はーとふるメッセ」参加
- 10月11日 「沼南まつり」自衛隊フリマ」参加
- 11月8日 「マフイまつり」参加
- 11月19日 いも掘り(野田市)
- 11月23日 「ぽかぽか市」参加
- 12月25日 クリスマス会 30日 餅つき大会
- 22年
- 1月26～27日 風早中学校職場体験生徒受入
- 2月14日 3周年記念パーティー
- 2月20日 「はーとふるメッセ」参加
- 3月14日 「雪遊び&スキー」日帰り旅行 (片品スキー場)
- 4月より、つくし特別支援学校の生徒受入開始
- 4月4日 「桜祭り」出店
- 4月7日 お花見(北柏ふるさと公園)
- 5月30日 第9回理事会開催



そうめん流しの様子



スキー旅行(片品スキー場)